

# 西多摩医師会報

創立

80  
周年

創刊 昭和47年7月

第246号 平成5年6月

同好医会発足100周年



『新潟魚沼地方の田園風景』 明田川修生

## 目 次

	頁		頁
1. 特集		6. 文芸隨筆その他諸事百般	
休日診療体制について (1)		雑記『西多摩医師会報』	
	広報部 … 2		山田正哉 … 17
2. 理事会報告	広報部 … 7	恐竜たちの午後	込田茂夫 … 19
3. 会員通知・医師会の動き	事務局 … 11	本の紹介	松原貞一 … 21
4. 外来診療担当表		7. 地区だより	
福生病院 .....	12	青梅地区	広報部 … 22
公立阿伎留病院 .....	13	8. お知らせ .....	22
5. 学術		9. 表紙のことば	明田川修生 … 23
甲状腺疾患のみかた 原 義人 … 14		10. あとがき	道又正達 … 23
一般向け講演会開催	広報部 … 16		

# 特 集

## 休日診療体制について（1）

広 報 部

### 【はじめに】

当西多摩地域における休日準夜及び夜間診療事業の今後の取り組みについての会長諮問を受け、本医師会救急・休日診療委員会は平成5年4月6日付で答申を行ない、詳細は前号に掲載致しました。

これらの事業については、多市町村集合型の西多摩医療圏の特性を踏まえ、都の地域保健医療計画や各自治体の事情、住民のニーズ、医師会各地区あるいは会員個々の事情等に整合性のある、包括的な救急・休日診療体系の下での合理的な運営が望まれます。

この点については平成元年7月に、当時の救急・休日診療委員会及び地域医療委員会が、初療センター設置方式を含む将来的ビジョンを提案してもいます。

しかしながら、今回の答申でも指摘されている通り、準夜診療が「市町村事業」、夜間診療が都と都医間の契約に基づく「医師会事業」と実施主体の違いや、自治体間の連携不足、9自治体に対して1医師会という本会の立場の困難性など、乗り越えるべき問題が多く、包括的かつ理想的なビジョンの実現には今後とも継続的な論議と努力と時間を要するのが実情であり、この立場から今回の答申では、当面とるべき方針について、現実的指摘が成されています。

広報部は今回の答申を受け、今後の救急・休日診療制度の維持・整備の一助として、休日診療の現状や問題点についてのリポートを企画しました。

本号では、まず東京都の休日医療体制と夜間当番の現状を紹介します。

### 【東京都の休日医療体制の現状】

#### 1) 休日診療体制の推移（平成5年2月17日現在）

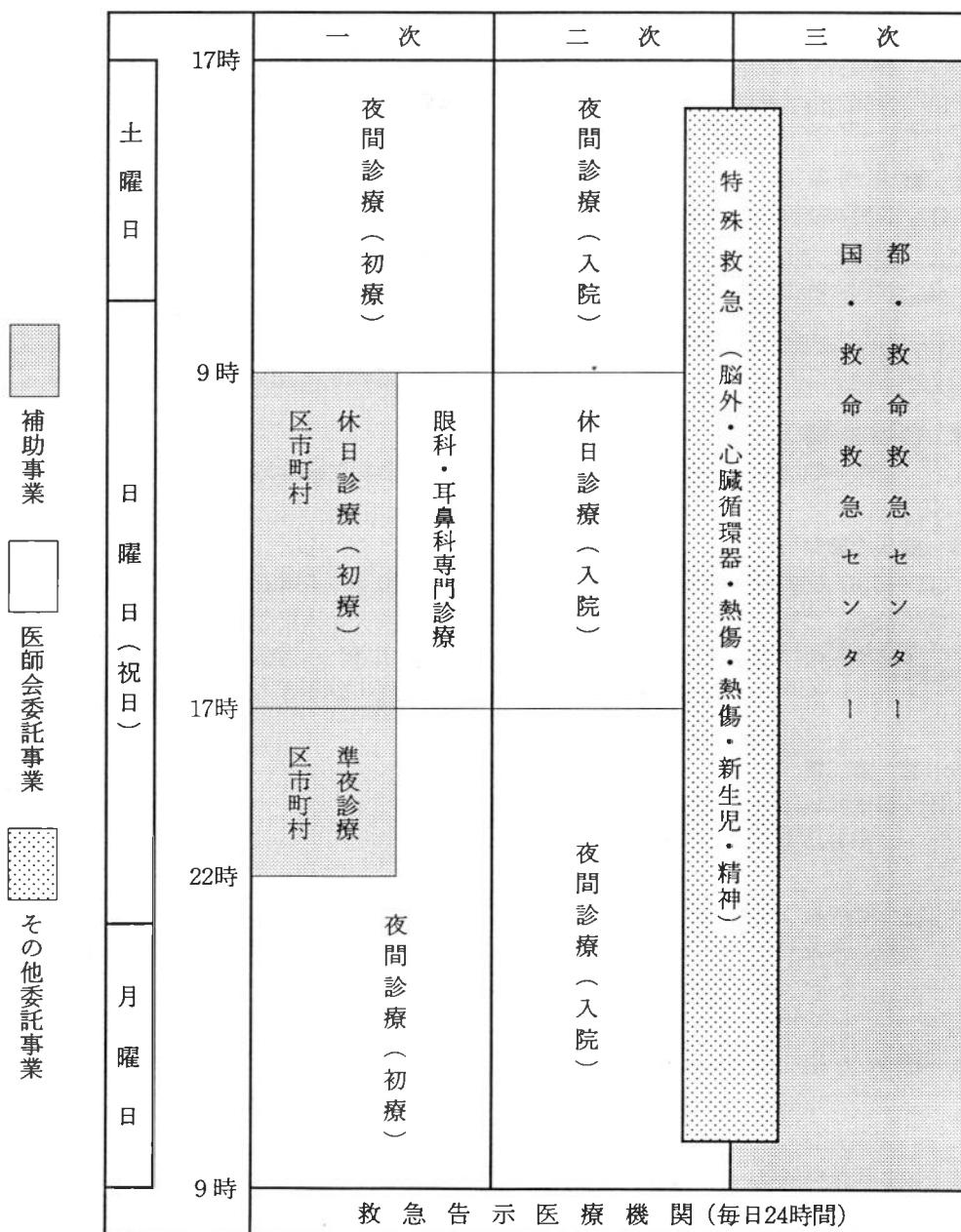
昭和48年7月1日	休日診療（初療・入院）事業開始
昭和51年10月1日	休日診療（眼 科）事業開始
昭和52年1月9日	夜間診療（1次・2次）事業開始
昭和52年4月1日	休日診療（耳鼻咽喉科）事業開始
昭和53年10月1日	準夜診療事業開始 脳外救急医療事業開始 新生児救急医療事業開始
昭和53年11月1日	精神科救急診療事業開始
昭和54年4月1日	休日診療（初療）・準夜診療を特別区へ移管
昭和54年10月1日	心臓循環器救急医療事業開始
昭和57年4月1日	休日診療（初療）・準夜診療を市町村へ移管
平成元年4月1日	夜間診療を土曜日へ事業拡大と体制変更

## 2) 休日診療体制の現状

都の休日診療体制は(図1)の如く、区市町村への補助事業、都医への委託事業、その他委託事業、救急告示医療機関制度、都立病院直営、などにより補完されている。

【図1】

## 都の休日医療体制



### 3) 夜間診療事業の概要

#### 1 事業の目的

民間医療機関等の協力を得て、休日（日曜・祝祭日・年末年始）及び土曜日の夜間に発生する救急患者に対する診療事業を全部的に実施すること。

#### 2 事業内容

夜間診療事業は、医療機関の同意を得て、医療機関の機能に応じ、都が夜間診療委託施設を指定し、この施設を通じて事業を行う。

夜間委託医療施設は、その機能に応じて次の2種類にわかれること。

- (1) 夜間初療委託医療施設（一般開業医・診療所）
- (2) 夜間入院委託医療施設（病院）

#### 3 診療対象

- (1) 夜間初療委託医療施設

内科・小児科及び外科の主として外来の救急患者の初療を対象とする。

- (2) 夜間入院委託医療施設

内科・小児科及び外科の救急患者に対して初療及び入院・手術等の専門的な治療を行う。

#### 4 診療時間

診療時間は、土曜日、休日とも午後5時から翌日の午前9時までの16時間とする。

#### 5 病床の確保

- (1) 夜間入院委託医療施設は、1当番日につき1施設当たり5床を確保する。
- (2) 前記(1)より確保した病床で真にやむを得ない理由で、入院医療に応じ得ない場合は、多摩地区の施設は第八消防方面本部（0425-25-0119）へ通報し、都立病院、救命救急センター及び救急医療センター等の協力を求めることができる。

#### 6 診療費

- (1) 診療報酬は、当該医療機関の収入。
- (2) 診療費は患者の負担。

#### 7 実施施設数

夜間診療事業は、東京都保健医療計画で定める二次保健医療圏（島しょを除き都内で12ブロック）ごとに、（図2）のとおりの医療機関を確保する。

#### 8 実施方法

夜間診療事業は、社団法人東京都医師会に委託して夜間診療委託施設の輪番制で行う。

##### (1) 実績報告

参加医療機関は、四半期ごとに患者取り扱い件数等を地区医師会、東京都医師会を通じ、都に報告するものとする。

## 【図2】

## 夜間診療実施施設数

ブロック名		区市町村名	1当番日当たり施設数	
医師会	二次医療圏		夜間初療委託施設	夜間入院委託施設
中央	区中央部	千代田・中央・港・文京・台東	箇所 1	箇所 2(1)
江東	区東部	墨田・江東・江戸川	3	4(1)
	区東北部	荒川・足立・葛飾	3	5
城西	区西部	新宿・中野・杉並	3	5
	区西南部	目黒・世田谷・渋谷	3	5
城南	区南部	品川・大田	3	3(1)
城北	区西北部	豊島・北・板橋・練馬	5	5(2)
小計			21	29(5)
西多摩	西多摩	青梅・福生・秋川・羽村・瑞穂・日の出・五日市・檜原・奥多摩	箇所 1	箇所 2
南多摩	南多摩	八王子・町田・日野・多摩・稻城	2	4(1)
北多摩	北多摩西部	立川・昭島・国分寺・国立・東大和・武蔵村山	2	2
	北多摩南部	武蔵野・三鷹・府中・調布・小金井・狛江	2	3(1)
	北多摩北部	小平・東村山・田無・保谷・清瀬・東久留米	1	2(1)
小計			10	13(3)
合計			31	42(8)

注) ( ) 内は都立病院の別掲

### 9 転院・転送

- (1) 初療医療施設における診断及び応急処置の結果、入院等を要する患者は、東京消防庁に連絡して、転院を依頼することができる。
- (2) 入院施設における診断の結果、特に救命救急センター、救急医療センター等へ転送する必要がある場合は、東京消防庁に連絡して、転送を依頼することができる。

### 10 救急告示医療機関制度との整合性の確保

この事業は、救急告示医療機関制度を補完し、休日等の夜間における都民の救急医療に適切に対処するために実施するもので、救急告示医療機関がこの事業に参加する場合、救急告示医療機関としての機能が損なわれることのないよう配慮する。

### 11 都民への案内

東京都衛生局夜間休日案内所及び東京消防庁テレホンサービスを通じ、夜間診療当番医療施設を都民に案内する。

### 12 本事業に関する問い合わせは、

東京都衛生局医務部医療対策課 救急災害医療係

☎ 03-212-5111 内線 28-411, 28-412

### 【西多摩における夜間診療の状況】

西多摩においては、初療を当初計画の3施設から1施設に減じ、初療は無床も可とし、診療スタッフも医師1、看護婦2（1名は検査又はX線技師でも可）とする、西多摩方式をとっている。

〔委託料〕 1夜間1施設当たり 109,300円（休日）  
159,000円（年末年始）

〔1夜間当たりの受診者〕 0～数名程度

〔夜間診療初療の地区別参加医療機関数（平成5年4月現在）〕

秋川3 青梅3 羽村0 福生5 瑞穂4 日の出1 その他0 総計16機関  
参加医療機関は減少傾向にあり、参加者の負担は約年7.5回と増大している。  
また地区別の参加数にバラツキがある。

次号以降では、準夜診療の現況を紹介し、休日診療の運営上の問題点をリポートします。  
御意見があれば広報部までお寄せ下さい。

（参考及び引用資料：夜間診療事業の手引——都衛生局編）

**理事会報告**★ *Information*

5月定例理事会

平成5年5月10日

西多摩医師会館

**【1】 報告事項**

(I) 東京都医師会第210回(臨時)代議員会報告 (松原会長)

(II) 「西多摩地域における胃がん検診事業」の推進に対する  
都知事より感謝状受賞について (松原会長)  
 4月22日都衛生局にて上記感謝状を受けた。  
 松原会長、西村前会長、古屋事務長が出席した。

(III) 各部報告 (各部長)

- (総務) 総務会を5月6日に開催した。
- (学術) 5月11日の講演会の準備状況報告。
- (福祉) 5月13日交通安全講習会への出席要請。

(IV) 各地区会よりの報告 (各地区理事)

- (青梅) 5月7日に役員会を行った。4年度決算等行った。
- (福生) 5月31日に総会を予定している。
- (羽村) 5月17日に定例会を予定している。

(V) その他 (高水委員長)

- あり方委員経過報告  
 7~8年先のあり方を目標として話し合いをしている。  
 これまで、会費、西医収益事業、救急・休日診療等について協議を行った。

**【2】 報告承認事項**

(I) 保育園医の推薦について(別掲資料1) —— 承認 —— (真鍋理事)

(II) 社保審査委員の推薦について(別掲資料2) —— 承認 —— ("")

**【3】 協議事項**

(I) 平成4年度各部事業報告につき承認を求める件 (各部長)

(II) 平成4年度収支計算につき承認を求める件 (清水経理部長)

(III) 平成4年度預り金につき承認を求める件  
 (日医会費、都医会費会計) ( " " )

(IV) 平成4年度西多摩医師会互助会収支計算につき承認を求める件 (清水経理部長)  
 (以上、監事監査報告)

(V) 「推進協」議題について (大堀理事)  
 老人保健施設「医療法人財団 岩尾会 東京海道病院及び、医療法人社団 幸悠会  
 鈴木慈光病院」の建設計画について協議する予定。

(VI) 西多摩医師会創立80周年記念事業記念誌の発行について他 (足立副会長)  
 実行委にて記念誌発行したい旨を再確認(4月21日)した。

(VII) 平成5年度定時総会議題等について (真鍋理事)  
 第1号議案 平成4年度収支計算につき承認を求める件  
 第2号議案 平成4年度預り金につき承認を求める件  
 第3号議案 平成4年度西多摩医師会互助会会計収支計算につき承認を求める件  
 第4号議案 西多摩医師会創立80周年記念誌発行及びそれに伴う予算につき承認を  
 求める件  
 上記議案を総会に計ることを決した。

### 【別掲資料1】

#### 平成5年度園医の推薦について

〈奥多摩町〉

保育園名	保育園医氏名	備考
古里保育園	川辺隆道	新

### 【別掲資料2】

#### 社保審査委員の推薦について

氏名	病院名	備考
平沼俊	阿伎留病院長	再

〈任期〉 自 平成5年6月1日  
 至 平成7年5月31日

### 【別掲資料3】

#### 平成5年度 福生保健所各種委員推薦について

##### (1)「保健所運営協議会」

氏名	備考
西村邦康	再
玉木一弘	新

##### (4)「地区母子保健対策協議会」

氏名	備考
道又正達	再
山田正哉	再

##### (2)「結核診査協議会」

氏名	備考
松原貞一	再
小林康光	再

##### (5)「難病関係機関連絡会」

氏名	備考
松原貞一	再
林実	再
道又正達	再

##### (3)「保健所保健事業連絡協議会」

氏名	備考
宮川栄次	新
真鍋勉	新
高水松夫	新

##### (6)「保健所保健・

##### 福祉サービス調整推進会議」

氏名	備考
玉木一弘	再

## 5月定例理事会

平成5年5月25日

西多摩医師会館

## 【1】 報告事項

## (1) 都医地区医師会長協議会及び三多摩地区医師会長協議会報告（5月21日）

(松原会長)

## 1. 都医からの伝達事項

## (1) 第210回（臨時）代議員会結果について

## (2) 社保審査委員会委員の推薦について

3者構成中都医側委員92名（療養担当者80名、学識経験者14名）を推薦。

## (3) 乳幼児医療費助成制度について

平成5年より46都道府県で実施予定。

対象は3歳未満の児童手当受給者（対象年齢人口の43%）。

平成6年1月より区市町村実施主体で補助率2分1で発足予定。

★ 医療証<sup>乳</sup>を平成5年10月配布予定。

## (4) 新規指定講習事業の実施について

★ 開業6ヶ月後の医療機関を対象に診療録整備担当規則周知のため年4回実施する。

指定内容は個別指導と同様、レセプト、診療録をもとに1件当たり7～8枚の指導を行うこと。

## (5) 偽造向精神薬処方箋事件について

千代田区喫茶店主が中枢神経興奮剤「リタリン錠」1,700錠を偽処方箋で搾取する事件があった。向精神薬取り締り法対象薬については、薬局よりの疑義照会に積極的協力をしてほしい旨要請あり。

## (6) MMRワクチンの当面の取扱について

当面接種中止とする。

## (7) 平成5年度国民生活基礎調査及び保健動向調査の実施について

上記調査を行うので、住民からの病名問い合わせ等に協力依頼あり。

## (8) 地区医師会産業医担当理事、事務長連絡会開催について

認定産業医制度移行期間終了（平5.3.31）に伴う申請漏れ者の為、最終申請の方法（6月末迄可）を後日連絡する。

## (9) 看護婦・准看護婦養成における奨学金制度等の運用について

奨学金契約と雇用契約は別に行うこと。

雇用契約は1年を越えぬこと、違約金の定めを行わぬこと。返済方法を明示した上で特定医療機関に一定期間勤務した場合は、返済を全額或は一部免除することは可。

**2. 協議事項**

6月22日 決算代議員会

9月30日 4階部分明け渡し予定。（都医拡張準備の為）

医賠積保険100万以下足切り分の駿河台厚生企画への新規加入は309名であった。

**3. 地区医師会からの報告**

多摩らいふ21、開催中の診療所に出務の為、医師50名要請（北多摩医師会40、西多摩1～2名）あり。

**(II) 「推進協」報告**

(足立副会長)

5月12日、青梅福祉センターにて、鈴木慈光病院と海道病院より申請のあった老健施設建設についての説明と協議を行った。

**(III) 学術部委員会報告**

(大堀理事)

5月19日にH5年7月からH6年5月までの学術講演会の予定を決めた。

**(IV) 各地区会よりの報告**

(各地区理事)

(秋川) 互助会財政難につき互助会費増額は1,000円程度はやむなし。

(羽村) 80周年記念誌発行につき報告し意見を求めた。とくに反対は無かった。

(瑞穂) 5月28日に地区会を予定している。

**【2】 報告承認事項****(I) 入会会員について**

— 承認 — (真鍋理事)

**(II) 平成5年度福生保健所各種委員推薦について（別掲資料3）**

(〃)

**(III) 東京都医師会学校医会評議員推薦について**

(〃)

道又正達会員を推薦する

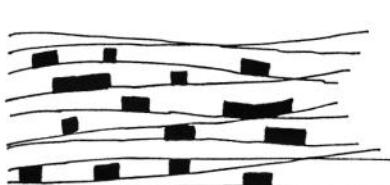
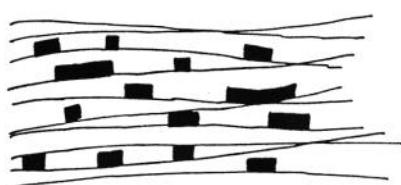
**【3】 協議事項****(I) 平成5年度定時総会全般について**

(真鍋理事)

総会運営、手順につき協議を行った。

**(II) 西多摩医師会80周年記念事業について**

(足立副会長)



## 会員通知

- 「健康講演会」開催に伴うポスター院内掲示について
- 杏林大学5月院内講演会のお知らせ
- 平成5年度関東甲信越静学校医協議会の開催について
- 老人保健分診療報酬明細書に係る一部負担金の取扱について
- 乾燥弱毒生麻しん、おたふくかぜ、風しん、混合ワクチンの接種について
- 交通安全運転講習会
- 高額療養費の支給基準の一部改正について
- 日本医師会主催「25回産業医講習会」の開催並びに申込用紙の配布方依頼について
- MMRワクチンの当面の取扱いについて
- 学術講演会のお知らせ

## 医師会の動き

医療機関数	171	病院	28	12日	乳健医会
		診療所	143	13日	春の交通安全運転者講習会
会員数	351	A会員	159	14日	青梅市医師会
		B会員	192	17日	秋川市医師会
				26日	学術講演会 講師：防衛医大助教授 石神重信先生 演題：脳卒中急性期のリハビリ について

### 会議

- 5月6日 総務会  
 10日 理事会  
 12日 推進協  
 17日 会報委員会  
 19日 学術部委員会  
 24日 あり方委員会  
 " 総務会  
 25日 理事会  
 27日 公衆衛生委員会  
 28日 在宅難病訪問診療  
 29日 定時総会
- 役員出張
- 5月12日 都医新役員懇談会  
 17日 都医政連全委員会  
 21日 都医会長会  
 " 三多摩ブロック会長会  
 22日 十三大都市学校保健大会  
 25日 東京労働保険医療協会評議会  
 28日 都医産業医担当理事連絡会

### 講演会・その他

- 5月7日 青梅市医師会役員会  
 8日 整備会  
 11日 学術講演会  
 講師：日大医学部教授  
 佐野精司先生  
 演題：スポーツ障害について  
 12日 法律相談

## 福生病院 外来診療担当医表

平成5年5月1日 現在

曜日		月	火	水	木	金
内 科	午 前	齊 藤 皆 川 井 沢	大久保 島 井 宮 田	大久保 島 井 高 橋	大須賀 島 井 宮 田	笠 井 笠 井 井 沢
	午 後	心エコー 島 井	呼吸器 肝臓 神経内科 心エコー	盛 奥瀬 本 村 川 井	甲状腺 木 下	糖尿病 笠 井 循環器 哲 鈴 (交互) 原 辰沼 膠原病 作 山
外 科		辛	諸 角	藤 田	豊 泉	諸 角
内 視 鏡	午 前	藤 田	藤 田	笠 井	諸 角	藤 田
	午 後	豊 泉	豊 泉			豊 泉
整 形 外 科		柴 崎	宇 井	柴 崎	宇 井	柴 崎
皮膚科	午 前	上 條	早 川	上 條	上 條	上 條
	午 後	子供外来 凍結外来				
眼 科		八 尾 第 4 清 水 週	休 診 (手 術 日) 午 上 羽 後 (コンタクト)	八 尾	八 尾	八 尾
耳鼻咽喉科		吉 田 捕 聽 器 大 和 田 (第 1・3 週)	吉 田	吉 田	田 中	吉 田
小 児 科	午 前	笠 井	齊 藤	高 畑	山 登	松 山
	午 後	予 防 注 射 松 山 (第 3 週 休み)	腎 外 来 (第 2 週 と 4 週) 本 田 喘 息 (第 1 週 と 3 週) 高 畑			乳 児 檢 診
婦 人 科		鈴 木	鈴 木	小 島	東	鈴 木
産 科		小 島	小 島	東	鈴 木	小 島
泌 尿 器 科		高 梨	高 梨	高 梨	休 診	高 梨
脳 外 科		中 川		中 川		中 川

## 公立阿伎留病院 外来部門診療担当表

平成5年4月1日 現在

	月	火	水	木	金	土
内 科	1 馬 場	大 口	西 成 田	馬 場	馬 場	別 表 の と お り
	2 佐 藤	藤 江	藤 卷	櫻 井	佐 藤	
	3 藤 卷	高 村	高 村	渡 辺	多 田	
	4 平 沼	佐 野	楳 石	平 沼	佐 野	
血液透析	大 口	佐 藤	佐 藤	大 口	櫻 井	
専門外来		呼吸器(平沼) 糖尿病(高村) 循環器(江本)	血栓・脳梗塞(西成田) 糖尿病(高村) 循環器(佐藤)	脳梗塞(佐野) 消化器(渡辺)	糖尿病(高村) (佐野) 糖尿病(多田)	
人間ドック			藤 卷	藤 卷		
小児科	政 岩 本	政 岩 本	政 岩 本	政 小 島	玉 置 岩 木	
		乳児検診	予防注射			
外 科	鈴 木	藤 田	藤 田	鈴 木	鈴 木	
整形外科 (特別診)	伊 藤 丸 山	丸 山	丸 山	本 田	本 田	と お り
	相 部	相 部	伊 藤	伊 藤	相 部	
脳神経外科	前 村	小 西	伊 東	時 津	伊 東	
皮膚科 (午後診)	甲 原	甲 原	甲 原	甲 原	狩 野	
		予約検査	アレルギー検査(脚)	凍結療法		
泌尿器科	朝 岡	高 玉	朝 岡	朝 岡	朝 岡	
産婦人科	森 田	齊 藤	森 田	森 田	森 田	川
	齊 藤	吉 村	齊 藤			
眼 科	秋 山	藤原・秋山	川 潤	秋 山	秋 山	川
		川 潤(手術)		川 潤(手術)	川 潤	
耳鼻咽喉科	大 塚	大 塚	大 塚	山 口	大 塚	村
	中 村	一 川	中 村	中 村	中 村	
歯 科	高 田		鹿 島		勝 山	

午後診療は予約を要します。

外科の( )は、検査終了後、外来勤務とする。

## 二 月 期 三 月 期 診 療 担 当 表

	1 週	2 週	3 週	4 週	5 週
内 科	佐 藤	高 村	佐 藤	佐 野	佐 野
	楳 石	藤 卷	渡 辺	高 村	藤 卷
血液透析	櫻 井	大 口	櫻 井	大 口	櫻 井
小児科	政	岩 木	政	岩 木	政
外 科	鈴 木	鈴 木	鈴 木	鈴 木	鈴 木
整形外科	鈴 形	外 科		医 師	
脳神経外科	伊 東	伊 東	伊 東	伊 東	伊 東
皮膚科	甲 原	甲 原	甲 原	甲 原	甲 原
泌尿器科	朝 岡	朝 岡	朝 岡	朝 岡	朝 岡
産婦人科	齊 藤	齊 藤	齊 藤	齊 藤	齊 藤
眼 科	川 潤	秋 山	川 潤	秋 山	川 潤
耳鼻咽喉科	中 村	大 塚	中 村	大 塚	中 村

整形外科は、別紙のとおり

脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科は、休診のため、緊急時の担当医とする。

## 学術

## 学術講演会 甲状腺疾患のみかた

— 平成 5 年 4 月 28 日 福生ホテル国際会館 —

青梅市立総合病院 内分泌代謝科 原 義人 先生

## (1) よくみられる甲状腺疾患

	甲状腺機能状態	甲状腺腫の性状
バセドウ病	亢進	びまん性
橋本病	正常・低下（亢進）	びまん性（多結節性）
結節性疾患	正常	結節性（多結節性）
亜急性・無痛性甲状腺炎	正常・低下（正常）	びまん性・結節性
その他		

## (2) 甲状腺機能検査

- 1 視床下部・下垂体・甲状腺系のフィードバック機構：TSH測定の重要性
- 2 甲状腺ホルモンの種類と血中での結合タンパク：妊娠時の測定値の解釈

Q. 妊娠中期の女性。T<sub>3</sub>:210 (N:70-190ng/dl)、T<sub>4</sub>:18.9 (N:4-13 μg/dl)、FT<sub>4</sub>:1.2 (N:0.85-2.0ng/dl)、TSH:0.7 (0.2-4.0 μU/ml)。解釈は？

A. 甲状腺機能は性状。T<sub>3</sub>、T<sub>4</sub>高値は妊娠でTBGが増加しているため。

## 3 各種甲状腺機能検査

Q. スクリーニングとしてまず何を測定したらよいか？

A. 『TSH + FT<sub>4</sub> + マイクロゾームテスト』

## (3) 甲状腺の形態学的検査

## (4) バセドウ病

Q. 抗甲状腺剤の具体的な使い方は？

A. 種類：メルカゾール (MMI) とプロパジール・チウラジール (PTU)  
 作用機序：甲状腺内での甲状腺ホルモン合成阻害  
 初期投与量：メルカゾール 6T (30mg)、プロパジール 6T (300mg)  
 薬疹の出る時期：投与開始後 2 週間目頃  
 減量時期：血中甲状腺ホルモン値が正常上限に入った時（開始後 1～2 か月後）  
 また、筋肉が“つる”、手や顔がむくむ、急に体重が増加した時

減量方法：6 T<sub>4</sub> → 4 T<sub>4</sub> → 2 T<sub>4</sub> → 1 T<sub>4</sub> → 1 T<sub>4</sub> 隔日  
 維持量になるまではできれば1カ月に1回はTSH、FT<sub>4</sub>、  
 TSHレセプター抗体を測定し、その結果をみながら減量する。  
 維持量の継続期間：最低1～2年、長い人は10年以上  
 中止時期：血中TSH正常、TSHレセプター抗体<10%が数カ月は持続してから  
 副作用：薬疹、無顆粒球症、白血球減少症、肝障害

## (5) 橋本病

- Q. 機能正常な橋本病はどう扱えばよいか？  
 A. 甲状腺腫が大きくない場合は1年に1回の経過観察。  
 甲状腺腫が大きく、患者がその縮小を希望するときはT<sub>4</sub>投与。

- Q. チラージンSの投与量が適当かどうかはどのようにして決めるか？  
 A. 補充目的で使用しているときは血中TSHを正常範囲内に保つ。  
 甲状腺腫縮小・癌の再発予防目的で使用しているときは血中TSHを  
 0.1 μU/ml前後に保つ。

## (6) 重症消耗性疾患 NTI (Non-Thyroidal Illness)

- Q. T<sub>3</sub>;60 (N:70-190ng/dl)、T<sub>4</sub>;6.8 (N:4-13μg/dl)、TSH;2.1 (0.2-4.0μU/ml)。  
 解釈は？  
 A. いわゆる低T<sub>3</sub>症候群。重症消耗性疾患では体のエネルギー消費を抑制するため  
 細胞内でのT<sub>4</sub>からT<sub>3</sub>への転換が減少し、血中T<sub>3</sub>が低値となる。  
 甲状腺機能は正常と考えられている。多くの場合、低アルブミン血症も併発する  
 ためFT<sub>3</sub>、FT<sub>4</sub>も低値となる。

## (7) 甲状腺結節性疾患

機能的には正常。それで“大丈夫”といってしまってはダメ。

良悪の診断が絶対必要。超音波と細胞診が重要。

良性：腺腫、腺腫様甲状腺腫、嚢腫

悪性：癌（乳頭状腺癌、濾胞状腺癌、髓様癌、未分化癌）、悪性リンパ腫

## (8) 一過性甲状腺機能亢進症あるいは一過性機能低下症を呈する疾患

- 1 亜急性甲状腺炎：ビールス感染？
- 2 無痛性甲状腺炎：軽い橋本病の一過性増悪？

Q. バセドウ病と一過性甲状腺機能亢進症の鑑別はどのように行うか？

A. シンチグラムが決定的であるが、以下の所見が参考になる。

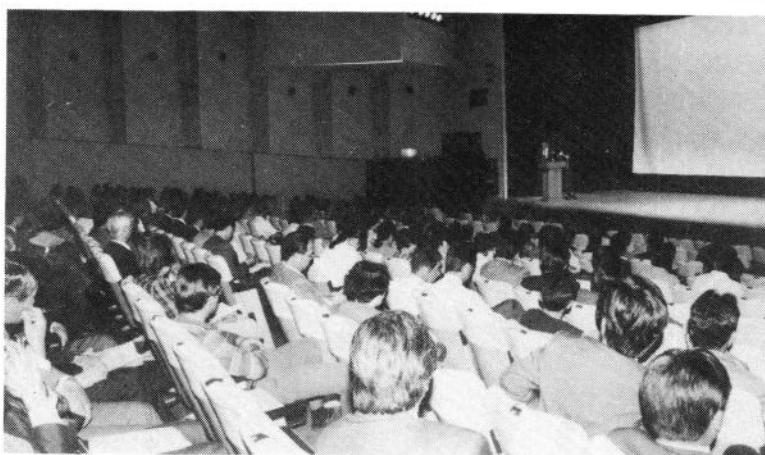
	バセドウ病	一過性甲状腺機能亢進症
甲状腺機能亢進症状	強い	比較的軽度
眼症状	30%陽性	陰性
血中TSHレセプター抗体	90%陽性	陰性
T3/T4比	>20	<20
シンチグラム	取り込み増加	取り込み極度に低下



学術講演会風景

## 一般向け講演会開催

さる5月11日(火)、午後7時より、羽村市公民館にて、一般住民向け講演会が、日大整形外科教授、佐野精司先生を迎へ、「スポーツと外傷について」の演題で行われ、約220名の出席で、盛会となった。(広報部)



一般向け講演会風景

## 文芸隨筆その他諸事百般

## 雜 記

## 西多摩医師会報

山 田 正 哉

從来西多摩医師会では会員に医師会関係のニュースを知らせる物と云えば、日本医師会、東京都医師会からの通達を印刷物にして伝達するばかりで、理事会の協議状況、会員の動向、学術講演の内容等を知らせる物が無かった。

北多摩医師会では昭和37年9月に会報が創刊発行されて以来逐一医師会活動等を会員に伝達していた。

故高水先生が会長就任前から私と種々意見交換をして、医師会事業の一つとして医師会報の意志があったことは既に述べたが、会長就任後間もない4月7日医師会館日本間に会長、藤野是常、菱山正治先生と私が集り、会報発行の件、編集方針及び今後の運営方法に関して意見交換をした。

4月12日午後7時より藤野是常、菱山正治、池田聖、百瀬政雄、堤次雄、杉本一、平林信隆、川崎健一郎の各先生方に、医師会館日本間に参集して頂き西多摩医師会報及び六十周年記念史発行に関して参考意見を開陳して頂いた。

4月20日夜会長宅に石森賢一元会長、後藤伸副会長、菱山正治監事、山田が会合して、今後の医師会運営基本方針、新規事業たる医師会報の発行は新設の広報部事業とし、会報編集委員を選出の上毎月発行することに協議決定した。

4月26日第一回理事会で会長より広報部事業の一つとして会報発行の件に就いて説明があり、全員承認可決した為めに、5月11日午後7時30分より医師会館で各地区より選出された広報委員と各部長との初会合が催され、会報発行の件、西多摩医師会六十周年記念史発行の件に就いて協議した。六十周年記念史

に関しては後日協議することとして、西多摩医師会報発行の主旨目的、会報の規模、会報内容、編集方法について協議し、今後毎月15日午後7時30分より医師会館に於て編集会議を開催することを決定した。

各地から選出された広報委員は、

秋川地区 菱山正治、杉本一、川崎健一郎、

平林信隆

福生地区 池田聖、堤次雄、矢ヶ崎久雄、

内山大、箱崎淳

青梅地区 丸茂三千穂、野村有信、藤野是常で、会報編集責任者は広報部長、発行人は会長に決定した。

5月15日夜8時より第1回会報編集委員会が開催され、会報に掲載する広告の大きさ及び料金等について協議した。

6月15日医師会館に会長、山田、箱崎、杉本、藤野、川崎、池田、堤、内山、丸茂、平林、野村が集合して、会報編集会議を開催し次の事項について協議検討したる後承認決定した。

1. 編集後記は3ブロックより出て各1人づつが書く。

秋川地区 川崎健一郎

福生地区 池田 聖

青梅地区 藤野 是常

2. 会報には毎月必ず各地区編集委員氏名を掲載する。

3. 会報の校正は編集後記担当者が当る。

4. 原稿〆切は毎月15日とし厳守すること。

6月16日保険部、広報部合同会議が午後8時より開催し、その席上で広報部事業計画として都広報部との懇親会、三多摩医師会庶務

担当理事連絡会に三多摩医師会広報部連絡会を春秋年2回開催の提案を決めた。

6月23日三多摩医師会庶務担当理事連絡会が北多摩医師会館で開催された際に、当西多摩医師会より三多摩医師会広報部連絡会開催の件を提案した。また、会報内容に関し各地区の事情説明を受けた処理理事会報告には必ず出席理事氏名を掲載する処が多く、その他に関しては大体本会と同様形式を取ることが確認され、会報編纂に大いに益することが多かった。

この時提案が現在の三多摩地区医師会広報部会議の基礎となったことを知って欲しい。

7月7日藤野是常先生の筆による絵画で表紙を飾って、西多摩医師会報第1号が発刊された。その内容を見ると、高水会長の“創刊の辞”に始めて日本医師会武見太郎会長、東京都医師会渡辺真吾会長、東京都医師会神津康雄広報委員長、豊島区医師会会长雄紀州会長、北多摩医師会加藤治三会長、南多摩医師会松本権太会長、町田医師会宿谷喬徳会長、武藏野医師会山田肇会長、新宿区医師会大野憲吉会長、府中医師会小曾木学会長の祝辞を掲載し、箱崎淳広報部長の“広報部と会報発行について”、故松本正規先生、平林信隆先生の隨筆、川崎健一郎先生の“ドライブへのいざない（第1回）”があり、藤野是常先生の“会報発刊に当りて”と題して発刊編集の所感が、他に各部よりの報告、会員の動向等を掲載している。また、6月15日の編集会議申し合せ事項により川崎健一郎、池田聖、藤野是常氏が編集後記をしたためている。

7月20日第2号会報編集会議を開催、8月11日青梅市和田市にて会長出席の下に会報編集委員の反省会が催された。

8月22日午後9時30分会長よりの招集で、会長宅へ箱崎、藤野、菱山、山田が集合して会報発刊の基本と今後の方針に関して意見交換をした。

8月23日医師会日本間で会報第3号編集会議を催し、爾後定期的に編集会議が行われ会報も順調に発行された。

然し、会報は文筆に優れた方の隨筆、ドライブ紀行がしばらく掲載され後も同人雑誌化

の傾向が見られたので、理事、他の会員から会報発行の目的再検討の声が挙り総務責任者たる私も苦慮していた。高水会長就任当初から医師会々務運営上の必要から毎月西多摩医師会より都医師会、社保審査会、国保審査会等に出ておられる先生方と会務連絡会を開催していた。

昭和47年11月20日医師会日本間で開いた会務連絡に高水会長、栗原正吾、後藤伸両副会長、坂本保都医師会医道審議会委員、小泉新策都医師会代議委員、森実社保審査委員、西村邦康国保審査委員、瀬戸岡進保険部長、箱崎淳広報部長、藤野是常会報編集委員、菱山正治監事、山田正哉総務部長が集合して、

“会報について”を議題として討論検討した結果、本年5月11日の各部長、広報部委員、編集委員と合同会議で決定した、会報発行の主旨目的の原点に立戻って、今後会報を発行すべきことを再確認して実行するよう協議決定した。

この件に関して会報第6号の編集後記に藤野是常編集委員が、また、箱崎淳広報部長兼会報編集責任者も会報の在り方に關して掲載している。

これ以来同人雑誌的傾向から脱却して、本来の会報発行の主旨目的に路線変更がなされ、理事会の協議状況、各部のニュース、会員の動向に関する事項が多くなり、隨筆等は編集委員会に於いて取捨選択して掲載するようになった。

会報創刊より第21号（昭和49年3月）までは、編集責任者として箱崎淳先生が当り、藤野是常先生の見事なタッチによる絵画を表紙に使用して来た。会報22号（昭和49年7月）から大河原周先生が広報部長に就任し、編集方針もガラリと変って文芸的作品の掲載は少くなり、医師会活動を主とし毎年8月には“終戦前後”としての特集号が編纂され、表紙には28号より43号まで会員の木造建診療所の写真を、45号から67号までは戦前から青梅市御岳の故福田紘先生の離れ（玉堂会館内に当時の部屋が復元されている）に疎開された日本画の泰斗川合玉堂先生の絵画写真を、68号から91号まで川崎健一郎先生が編集を主

として担当され、92号より114号まで堤次雄先生が当り、表紙に会員撮影による西多摩地区風景写真を、また、105号、106号、111号、114号表紙に医師会絵画部の先生方の絵画を、115号から138号までは故菅井義久先生が編集責任者に、139号から159号まで村山正昭先生が、160号から185号まで石井好明先生が、186号から209号まで大嶽栄二先生が、210号から233号まで真鍋先生が当り、234号より現在まで明田川修生先生がその任に当っている。

現在245号を数え創刊以来21年が経過し、その内容にも時代の背景と医師会活動の変化が見られ、その時々の編集責任者と編集委員の構成により夫々の特色が發揮される会報を読む楽しみがある。

会報の表紙にしてもその時々の苦労の跡が忍ばれ掲載されてる写真の中には今は亡き懐

しき先生のお姿を偲ぶことも出来、また、印刷技術の向上によりカラー表紙を見るのも一つの楽しみである。

会報内容も当初の様な同人雑誌的傾向から脱却し年代と共に一つの方向が定り医師会活動を中心として、理事会の状況、学術的論文、会員動向を主とし随筆などを從とする編集となり、故高水会長と最初に企画した会報発刊の主旨的に沿って一回も休刊することのないことは、誠に喜ばしきことで、さぞ地下の高水先生もお喜びになっておられる事と存じます。

今日まで西多摩医師会報を今日の如き立派なものにして下さった会報編集責任者と編集委員のご努力に対して満腔の感謝を捧げると共に、今後益々立派な会報に成長発展されることを祈念して本稿の筆を置く。

## 恐竜たちの午後

込 田 茂 夫

20年前だっただろうか、新聞に南太平洋で漁をしていた日本のトロール船団が、正体不明の生物の死体を引上げたという記事が載ったことがあった。写真は撮られたものの赤道近くのため腐敗がひどく、悪臭のため遺体は捨てられてしまったという。首長竜の一種に似ているとの専門家の談話もった。コモロ諸島の近海には、現在もシーラカンスが生存しているのだから、南太平洋ではひょっとしたら首長竜の一群が細々と生息していたのかもしれない。そう思うと、遺体が捨てられた事は大変残念であった。そしてその話は、知るかぎりそのままその後の発展もなく、人々の記憶から失われていった。

以下は私が最近、実際に遭遇した恐竜たちの話である。

御存知の先生もたくさんおられる事と思うが、実はここ数年、特に昨年の夏は大変な恐竜ブームだった。熱中したのは主に一部のイ

ンテリとマニア（恐竜オタク）や、時代に敏感でなければならない職種の人々、そして普通の子供たちであった。都内だけでも3ヶ所のデパートやホテルで、中国やロシア、米国などから化石を持込み恐竜展が開催された。

恐竜はいつも、その絶滅の謎と共に子供たちの興味の対象だが、今回のブームは一つに ecology の台頭という時代の空気が背景にあったためであり、また最近の古生物学に新たな展開があったためとされている。それは1979年に発見されたマイアサウラで明らかになった恐竜の子育てや、1991年南極点から640km地点のカーカパトリット山で、草食と肉食の恐竜化石が発見されたことにより再燃した。恐竜温血説：小型恐竜の温血（恒温）性、大型恐竜の慣性恒温性：（当時、極地は今より温暖ではあったが、植生から季節があり、寒冷で平均気温は5℃以下と算定されているので、温血性でなければ長期生存できな

かったとされている。）また高い知能や社会性、群れをなしての狩り、プロントサウルスやアパトサウルスで言われてきた鈍重なイメージではなく、むしろニワトリなど鳥類に近い敏捷性などなどである。

かくいう私も子供をだしに、夏の暑い午後、都内のPホテルの恐竜展を見てきた。目玉は白亜紀後期に生息した竜盤目、獣脚亜目、タルノサウルス下目、ティラノサウルス科、タルボサウルスの全身骨格の化石（全長12～13mはあるか）と、これの実物大の動刻（コンピュータで動き、うなる模型）がタルキア（白亜紀後期、鳥盤目、アンキロサウルス科）の動刻に襲いかかるパノラマであった。朝焼けの空をバックに、あるいは満天の星を背景に雄たけびをあげるタルボサウルスを見上げていると、確かにVirtual reality（仮想現実）に充分浸らせてくれる。タルボサウルスはあの有名なティラノサウルスやカナダのアルバートサウルスに非常に似たやや小ぶりの恐竜であるが、発掘された地域が完全に離れているため、取敢えず別の種とされているが、同一種と見なしている学者もいる。ジュラ紀後期のアウロサウルスもこれらに類似しているが、頭蓋骨には開口部がより大きくつくれ、軽量にできており食性や捕食の仕方の相違を暗示させる。一方のタルキアは草食性で「頭の良いもの」という程の意味だが、アルマジロを巨大化させたように全身に厚くなった骨板を纏っている。尾の先端には分銅の様な骨の塊がついており、それを敵に打ちつけ攻撃的防御を行ったとされている。

そもそも恐竜とは、2億3000万年前に出現し、何と1億6000万年もの間地球上に君臨し、6500万年前突如地球上から絶滅した陸棲のハ虫類の一群を指す。人類は繁栄しているといつても、その期間はたかだか100万年に過ぎないから、恐竜の時代に比べれば人類の繁栄の歴史など、まだほんの一瞬でしかない。

肉食恐竜の化石を見る時は、その鉄の杭を並べたような歯と、頑丈な頭蓋骨にはいつも圧倒されるが、それにしても1億年前の生物の形がこうもありありと目の前に呈示される

と、1億年、2億年などという時の流れは、本当は大したことではないのではないかと思えてしまう。皮膚の化石からはウロコの重なり方など皮膚の状態を、骨からは筋の付着や強さ、関節の動きを、ハバース管密度や骨細胞の走査電顕像からは、その新陳代謝の状況を、また巣跡からその集団性や社会性などを、通過痕跡からは体の大きさや走る速度、集団移動の陳列などなどかなりの事が解明されている。

百年も生きられない人間が、気の遠くなるような過去の生物の生態をかなりの精度で知ることができるのだから、人間の知恵も捨てたものではない。まさに「考える葦」である。

それから程なくして、診療に忙しいある月曜の昼休み、羽村市内のとある大きな工場と思しき建物へ、知合いのF氏に案内された。階段を上がると、そこに5m程の *Tyrannosaurus* がこちらを向いてキバをむいていた。最新の学説の通り、眼窩上部には process supraorbitaris (?)ともいるべき突起まで、精密に再現されていた。*Miasaura*（鳥盤目、鳥脚亜目、ハドロサウルス科、良い母親トカゲの意）の発見者で今回の恐竜ブームの火付け役となった、モンタナ州立大学ロッキーズ博物館の John R. Horner 博士がこの工場に来て、直接指導したというのだから当然であろう。ちなみにこの工場から生み出されている動刻は、国内の博物館は勿論、ロンドンの大英博物館にも米国、ダイナーメーション社の恐竜ロボットと共に納められているとのことだ。

トリケラトプスや頭突きの得意なパキケファロサウルスなどの動刻などの他に、恐竜の卵の化石も見せてもらった。ここでは化石の注文販売も行っているとのことだった。（そういえば最近デパートで化石が売られているのをよく見かける。上野の国立科学博物館にもアンモナイトの化石が500円位で売っていた！）

ところで最近のバイオテクノロジー、ことに遺伝子に関する研究は非常に進歩している。三十億対といわれる人のDNA塩基配列の解

析に世界中が必死の競争を繰広げているという。解説部分に特許をとることが、問題になっていることは記憶に新しい。DNAの配列さえ分れば、どんな生物も人工的に再現することができるわけだ。（実際クロントマトやクローンブタなどは知らぬまに、食卓に上っているのではなかろうか。）絶滅した生物についてはどうだろうか？たとえば、恐竜は？この着想から生れたのがハーバード大学医学部卒のMichael CrichtonのSF小説

“Jurassic Park”だ。既に、スピルバーグ監督の下映画化され、この7月15日より日本でも上映される。今年の楽しみの一つだ。

さて、恐竜のDNAをどこで手にいれるか？答えはコハクの中にあった。コハクは松ヤニなど樹脂が化石化したものだが、この中に都合の良いことに、コケや種などの植物の他にハエや蚊などの昆虫が閉じこめられていることがある。（つい先日も弘前大学で、中米ドミニカ産のコハクの中の3000万年前のハエからDNAの抽出に成功。ホメオボックスと呼ばれる、昆虫の羽や足の形の決定に関与している遺伝子のDNA配列が明らかにされたという記事が新聞に載っていた。これはハエの進化の過程解明の一助になるわけだ。）この

コハクの中の蚊の吸った血液中に恐竜のDNAがあるというのだ。可能性としては、ありうる話だ。

こうして、人口培養（？）した恐竜たちをサファリパークならぬ恐竜パークに放飼いにしたまでは良かったが……。後は小説か、映画を御覧下さい。（暇があればですが。）尚、この小説中の主人公グラント博士は羽村に来たマイアサウラで有名なJ.R.Horner博士がモデルとのことである。



Tyrannosaurus : 羽村市K社にて

## 本 の 紹 介

松 原 貞 一

青梅市立総合病院の星 院長が、この度医歯薬出版により「新しい医学用語ものがたり」という大変興味深い本を出版なさいました。

先生は以前より臨床検査の専門誌「Medical Technology」に毎月「軽笑室」を、(株)ビームエルの季刊誌「Vita」に「医学用語ものがたり」を、又日本病院会雑誌に「医学のルーツを尋ねて」を連載されておりましたが、これらを纏めて「医学用語の語源が楽しく覚えられる本」として出版されたもので、あのお忙しい先生が、日曜日毎に図書館に通われ、夜はワープロを打たれたと書かれております。ガス・クリニック・ホスピタル……等の語源

が100話。大変面白くユーモラスな筆調で語られ、続編も出る予定とのことです。星 先生の名作故会員の先生方に是非ご一読をおすすめ致します。

「楽しい医学用語ものがたり」

青梅市立総合病院 星 和夫 先生著

医歯薬出版株式会社 発行

〒113 文京区本駒込1-7-10

03-3944-3138

定価 2,800円

\*御希望の方は医師会事務局まで

## 地区だより

### 青梅地区

5月9日青梅市医師会福祉部主催による第5回青梅市医師会ゴルフコンペが東都飯能CCで行われました。当日は風薫り、絶好のゴルフ日和で腕に覚えのある諸氏、無い諸氏が16名参加しました。結果は例によって

「まあまあ」でしたが、優勝はなんと松原会長で、グロス90でした。2位は皆川整形外科の皆川先生、3位は青梅市立総合病院の宇田先生でした。

(広報部)

## お知らせ

7月(6月診療分)の

保険請求書類提出日

7月8日(木)

——正午迄です。——

## 法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽にご相談下さい。

- ◎ 相談日 6月は9日(水)  
7月は14日(水)の予定です。
- ◎ 場所 西多摩医師会館和室
- ◎ 内容 医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎ 相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)
- ◎ 申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。  
(注)先生の都合で相談日を変更することもあります。

## 表紙のことば

### 『新潟魚沼地方の田園風景』

ここ新潟魚沼地方は日本の代表的ブランド米“コシヒカリ”的産地です。

険しい冬も終り田植が終ったばかりの山間の田園風景の一コマです。

この地方は、土地並びに昼夜の温度差が米作りに最適との事でした。

明田川修生

## あとがき

一古参の編集委員として80周年記念の活字となる部分で、21世紀に確実に接触できる歓びを嗜みしめている。10年後にこの原稿を健康的な状態で読み返しが出来れば大変素晴らしい。

記念号(便宜上の名称)の試案の私案は第一号、第二号と分割して考えてみる。

第一号は祝典をリアル・タイムに伝達するため、来賓の祝辞などは専門の速記者に依頼したら良いと思います。録音テープから原稿の活字になる課程は大変なものである。幸い今度は写真部があり素敵なものができると思います。このあたりは創立70周年記念特集号を参考にしたら良いと思います。どちらに組入れても結構ですが、定款改正はここ10年のニュース・バリューとして重いものと考えられるし、『ありかた委員会』の存在も触れたらいいだろう。いずれにしても第一号は対外的なものが主になりそうです。

第二号は各地区の先生方に協力を願い楽しめる紙面となることを期待します。今以って60年史の巻末の会員紹介の顔写真とアンケート形式の自己紹介部分はこれぞ記念号の真髄とまで私は解釈しています。アンケートをもう一工夫しても味が出るかも知れないし、形式にこだわらずフリー・スタイルでも字数を限れば、結構いけるのではないかなどなど。一号、二号共会報特別号として取扱い無駄な出費を出来るだけ避け、内容のあるものにしたいものです。

会報は Always on my mind。

みちまた まさたつ

社団法人 西多摩医師会

平成5年6月1日発行

会長 松原貞一 〒198 東京都青梅市西分3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 明田川修生

天野了一 石井好明 片平潤一 小机敏昭 辻田茂夫

瀬戸岡俊一郎 高水松夫 玉木一弘 道又正達 山川淳二

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993



# 健康な、明日へ。

大切な生命を守る医薬品を  
より速く、より正確にお届けするために  
私たちは努力をつづけています。

必要な医薬品を、必要なときに、必要なだけお届けすること。  
それが、クラヤ薬品の使命です。そのためには、いろいろなシステムを開発してきました。

クラヤ・オーダーエントリー・システム…KOSもそのひとつ。お得意さまとコンピュータによるネットワークを結び、医薬品の自動発注から在庫管理までをこなす、画期的な情報伝達システムです。  
さらに、ポータブル端末による受注データ転送システム、バイクによる緊急配達システム…KESなど、お得意さまのニーズにお応えする新しい流通システムづくりを、一步一步すすめています。

医薬・医療品総合商社



クラヤ薬品株式会社

本社 〒101 東京都千代田区外神田1丁目1番5号 ☎ 03-253-8161(代表)

R  
RETAIL BANK  
あさひ銀行

あなた  
の街の  
あさひ  
です。

あさひ銀行

東青梅支店	TEL.0428-22-2121(代)	〒198 青梅市東青梅2-17-4
奥多摩特別出張所	TEL.0428-83-2515(代)	〒198-02西多摩郡奥多摩町氷川1421
青梅支店	TEL.0428-22-1101(代)	〒198 青梅市青梅295
河辺支店	TEL.0428-24-2401(代)	〒198 青梅市河辺町10-2-9
福生支店	TEL.0425-51-1021(代)	〒197 福生市福生1048
村山支店	TEL.0425-61-1211(代)	〒208 武藏村山市中藤4234
秋川支店	TEL.0425-58-2611(代)	〒197 秋川市下代継111-5
羽村支店	TEL.0425-79-0881(代)	〒205 羽村市五ノ神4-13-10
五日市支店	TEL.0425-96-1311(代)	〒190-01西多摩郡五日市町五日市840-1

# 健康の輝きをひろげる。



株式会社 ビー・エム・エル

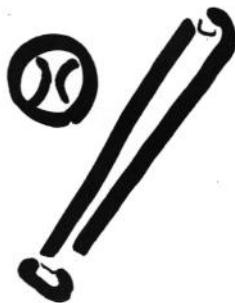
本社：〒166 東京都杉並区高円寺南1-34-5 TEL.03-3216-0111(大代表)

総合研究所：〒350 群馬県川越市約場1361-1 TEL.0492-32-0111(代)

応援します!  
ひとりひとりの笑顔のくらし。



1打席1打席、つねにその瞬間を大切にしながら確実に  
得点に結びつけていく。みんなで力をあわせて——。  
そこに笑顔がひろがって、さらに大きな力になります。  
たましんは、そんなみなさまの暮らしの  
応援団になりたいと思います。



だから

[ファミリー・リーグのたましん]



自然のめぐみを最先端の技術で活かす——ツムラ漢方製剤エキス顆粒(医療用)128品目+3品目



ツムラは、ツムラ漢方製剤エキス顆粒  
(医療用)128品目+3品目により、  
高齢化社会の深まりつつある現実の  
治療に貢献しつつ、  
漢方製剤の科学的な実証を通じて、  
21世紀に至る長寿社会の治療手段と  
しての役割をはたしていきたいと  
願っております。



最新のテクノロジーが計測します  
そして、人の眼と心が記録します



臨床検査のパイオニア

保健科学研究所

本社 〒240 横浜市保土ヶ谷区神戸町106 TEL/045-333-1661(代表)

仙台支社 〒983 仙台市宮城野区栗町1-3-5 TEL/022-236-9345(代表)